

講義科目名称： 健康子ども学Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	2	選択
担当教員			
戸松 玲子			
金2			
添付ファイル			

科目の概要	健康子ども学Ⅰでの学びを基に、こどもの心身の健康発達・保障について考える。特に、近年の子ども研究における知見から、多面的にこども理解を深めていく。
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの発達障がい 子どもの発達障がいの背景にある生物学的素因について</li> <li>2. 発達障がいと二次障がいⅠ 発達障がい児の社会的不適応問題の背景にある生物学的素因と環境要因との関係について</li> <li>3. 発達障がいと二次障がいⅡ 発達障がい児が抱える成人後の社会的不適応問題とその臨床像について</li> <li>4. 子どものストレス 子ども期のストレス要因について</li> <li>5. 子どものストレス反応Ⅰ 急性ストレス障害と退行現象について</li> <li>6. 子どものストレス反応Ⅱ 子ども期のPTSD（心的外傷後ストレス障害）症状について</li> <li>7. 子どもの心身症Ⅰ 子どもの心身症について</li> <li>8. 子どもの心身症Ⅱ 子どもの心身症と発達行動上の問題について</li> <li>9. 健康な子どもの問題行動と遊びの関係Ⅰ（精神発達の視点から） 子どもの遊びの発達と生活経験の関係について</li> <li>10. 健康なこどもの問題行動と遊びの関係Ⅱ（精神発達の視点から） 生活経験の投影としての遊び</li> <li>11. ハイリスクのこどもの問題行動と遊びの関係Ⅰ 災害時における急性ストレス障害と遊びの関係について</li> <li>12. ハイリスクのこどもの問題行動と遊びの関係Ⅱ 被虐待児特有の遊びの世界について</li> <li>13. 虐待発生のメカニズムⅠ 虐待の背景にある社会的要因について</li> <li>14. 虐待発生のメカニズムⅡ 虐待の背景にある個人的要因について</li> <li>15. まとめ 総括</li> </ol>
学習到達目標	
授業の方法	
成績評価の方法	レポート(70%)，平常点(30%)
教科書・テキスト	適宜プリント配布
参考書	必要に応じて紹介する
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	
履修上の留意事項	
オフィスアワー	毎昼休み
担当教員への連絡方法	r-tomatsu@osaka-aoyama.ac.jp
その他	